

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	環境 - 16	衛生・害虫駆除事業	☐ 法定受託事務
所管課	環境部 環境保全課		評価者 環境保全課長 牧野 直樹
一般	会計	款 20	項 15
目 10			
総合計画上の位置付け	分野名	生活環境	施策の方針名 快適な生活環境の保全

1 事業の目的

対象	市民等	意図	感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。
効果	不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒相談、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談	ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒相談、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談	ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒相談、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談
予算額（千円）	3,978	3,919	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	3,978	3,919	0
当初人員配置数	1.6	2.0	0.0
人件費（千円）	6,503	10,312	0
事業実績	ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒相談、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談		
決算額（千円）	2,912		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	2,912	0	0
人員配置実績数	1.6	0.0	0.0
人件費（千円）	6,351	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	相談対応率	%	100	⇒	100		
活1	実績につながる活動	相談に対して100%対応した。また、スズメバチの相談に応じて補助金制度の案内を行い、補助金活用を推進した。				-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・相談件数は、例えばスズメバチ類であれば、晴れの日が続くとハチの活動も活発になり巣が見つけやすくなるなど、気象等の自然的要因によって大きく左右される。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・目標値100%に対して100%達成し、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に寄与した。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・相談件数は、例えばスズメバチ類であれば、晴れの日が続くとハチの活動も活発になり巣が見つけやすくなるなど、気象等の自然的要因によって大きく左右される。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・気象等の自然的要因に大きく左右されるため、成果指標の設定にはなじまない事業である。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない
		評価実施年度の方向性 ⇒	評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針 (見直し方針)	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	・スズメバチの補助金制度があることにより、攻撃性の高いスズメバチの駆除に貢献し、快適な生活環境の形成が図られているため、事業を継続していく必要がある。		上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市の同事業とは、事業内容が異なり単純に比較ができないため、他市比較はなじまない。
----------------------	---